追手門学院大手前高等学校

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代文演習	単位数	3	年次／コース	高校３年生／特進文系
使用教科書	なし						
副教材など	尚文出版　マーク試験のための基本練習　現代文 10 尚文出版　共通テスト対策　国語完答 32 尚文出版　新版品詞別頻出漢字マスター3000						

１．担当者からのメッセージなど（学習方法など）

・「現代文演習」の授業では、大学入試を見据えた得点力を身につけることのできる授業を目指します。そのためには、時間内にしっかりと文章を読み込み、設問の意図をつかんで解答することが大切です。得点力を上げるのに、近道はありません。一つ一つの文章の理解につとめ、根拠を探し解答を導くという過程を積み上げていきましょう。
・文章読解のためには、語彙力を付けることが必要です。言葉の意味を知らずに、文章を理解することはできません。語彙力を養う取り組みは行っていきますが、普段から言葉の意味を調べるなどの習慣も大切です。毎日の積み重ねを大切にしましょう。
・テキストとともに大学入試問題も教材として扱いますが、ねらいとしては「共通テスト」での得点力をつけることです。従って、私大対策ではなく共通テスト対策として文学的文章も扱っていきます。
・成果物の評価としては、提出物などが中心となります。普段の授業で使用したものを提出することになります。日々の学習にしっかりと取り組みましょう。

２．学習の到達目標

〇複数の情報を関連付ける視点をもち、テクストを比較・統合・適用する思考を身につける。

〇文章の伝えようとする話題と主張を把握する力を身につける。

〇さまざまなジャンル・形式の作品にふれ、作品のもつ意味を考える力を身につける。

〇漢字の読み書き、文学史などの知識を蓄え、活用できる力を身につける。

以上を通して、共通テストでの得点力を身につける。

学習評価（評価規準と評価方法）

観点	A：関心・意欲・態度	B：話す・聞く能力	C：書く能力	D：読む能力	E：知識・理解
観点の趣旨	文章を理解し、演習問題を読み解く力を高めるとともに、自ら解答を探し求めようとしている。	目的や場面に応じて効果的に話したり、的確に聞き取ったりして自分の考えを深め、演習問題の正解へとつながっている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深める。また、記述解答へとつなげている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、問題演習の解答へとつなげている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身につけている。また、問題演習の正解へとつながっている。
評価方法	定期考査 授業プリント リフレクションなど	定期考査 授業プリント リフレクションなど	定期考査 授業プリント リフレクションなど	定期考査 授業プリント リフレクションなど	定期考査 授業プリント リフレクションなど
（成績割合）定期考査 70%　成果物 30%　〔学年末に５段階の評定にまとめます〕					

４．学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			A	B	C	D	E		
1学期	【マーク試験のための基本練習 現代文10】大問ごとにそれぞれ２時間相当で進める。 ○第１回（評論） 司馬遼太郎 「この国のかたち」 ○第１回（小説） 津村節子 「智恵子飛ぶ」 ○第２回（評論） 山崎正和 「手とイメージ」 ○第２回（小説） 横光利一 「旅愁」 ○第３回（評論） 森本哲郎 「日本語根ほり葉ほり」 **一学期中間考査** ○第３回（小説） 芥川龍之介 「蜜柑」 ○第４回（評論） 中井正一 「日本の美」 ○第４回（小説） 三浦綾子 「泥流地帯」 ○第５回（評論） 林達夫 「笑い」 ○第５回（小説） 中勘助 「銀の匙」 **一学期期末考査** 〇近畿圏私大一般推薦型入試過去問演習 ・産近甲龍大を中心に	マーク試験演習の留意事項を学ぶ。 **<u>論理的文章の演習について</u>** ・文章を、構成を意識しながら筆者の趣旨に沿って的確に読み取るようにする。 ・各設問について、傍線部の分析に基づいて、文中から根拠を探し、解答を作成する。作成した解答に基づいて選択肢を吟味する。 **<u>文学的文章の演習について</u>** ・登場人物の心情を、その前後の出来事や人物の様子・発言・行動に基づいて捉える。 ・場面展開とその意図を把握する。 ・言葉の意味や特徴などを知る。 **この時点では時間内に解くことよりも、各文章、各設問について適切な手順を踏んで読解・解答ができているかを重視する。**	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	A：自ら進んで文章を理解し、演習問題を読み解く力を高めようとしている。また、自ら解答を探し求めようとしている。 D：文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深めている。また、深めようとしている。 E：言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身につけている。また、問題演習の正解へとつながっている。	定期考査 授業プリント リフレクションなど ・漢字の読み書き、評論用語、ことわざ慣用句、文学史などは、定着を図るため、適宜チェックを繰り返す

2学期	【共通テスト対策国語完答 32】 〇第１回（論理） 菅原健介「『まなざし』の中の自己」 〇第１回（文学） 藤沢周平「心に残る秀句」「青春と成熟」 〇第２回（論理） 広井良典「コミュニティを問い直す」 〇第２回（文学） 正宗白鳥「光秀と紹巴」 〇第３回（論理） 粟津則雄「絵と絵を超えるもの」 〇第３回（文学） 伊藤たかみ「東京モノレール」 高井有一「夢の碑」 〇近畿圏私大入試過去問演習 ・関関同立大を中心に **２学期中間考査** 大問ごとにそれぞれ１時間相当で進める。解説は正答率を見ながらポイントを絞る。 〇第４回（論理） 山岸俊男「安心社会から信頼社会へ」 〇第４回（文学） 石原吉郎「馬と暴動」 荒川洋治「空隙」 〇第５回（論理） 苅谷剛彦「考え合う技術」 〇第５回（文学） 有吉佐和子「紀ノ川」 〇第６回（論理） 梅原猛「森の思想が人類を救う」	大学入学共通テスト型問題演習の留意事項を学ぶ。 **<u>図・表・グラフを用いた問題について</u>** ・文章と照らして、各資料が用いられている目的、また文章と資料の役割関係を確かめる。グラフでは数値の変化や傾向に注目する。 **<u>韻文を用いた問題について</u>** 鑑賞文の解釈に沿って、韻文の読解を行う。 **<u>複数テクストを用いた問題について</u>** テクスト同士の内容的関連性を意識する。テーマや話題、主張の共通点・相違点を、対義語・同義語やキーワードを手掛かりに読み取る。 **この時期は、時間内に解ききることを意識し、時間配分に注意する。また、目標点と実際の得点との差を意識して、復習すべき問題の優先順位をつけさせる。**	〇 〇			〇 〇	〇 〇	A：自ら進んで文章を理解し、演習問題を読み解く力を高めようとしている。また、自ら解答を探し求めようとしている。 D：文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深めている。また、深めようとしている。 E：言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身につけている。また、問題演習の正解へとつながっている。	定期考査 授業プリント リフレクションなど ・漢字の読み書き、評論用語、ことわざ慣用句、文学史などは、定着を図るため、適宜チェックを繰り返す

	○第６回（文学） 菊池寛「無名作家の日記」 ○第７回（論理） 三浦雅士「孤独の発明」 ○第７回（文学） 平出隆「伊良子清白月光抄」「破船のゆくえ」 ○第８回（論理） 矢田部英正「椅子と日本人のからだ」 三井秀樹「メディアと芸術」 ○第８回（文学） 平安寿子「パートタイム・パートナー」 ○センター試験過去問・共通テスト過去問・共通テスト対策問題演習 **２学期期末考査**		○ ○ ○			○ ○ ○	○ ○ ○		